

古川が担当し、各方部の調査者、話者の協力によるものである。

本書は長沼町の伝説の集大成といいながら、各集落には埋もれた伝説がまだあると思われるし、完全なものとは考えていない。今後も、各集落のご協力を願う次第である。分類も研究不足で最後まで判断のつかないものもあつた。適確と認められない点もあると思う。編集担当の責任である。

今後とも読者各位の御指導を望む次第である。

昭和五十一年八月

福島県民俗学会員

古川 明